

# 四つの自由 (1941年)

フランクリン・D・ルーズベルト

1941年1月、欧州の大半が前進を続けるナチ・ドイツ軍の犠牲になった頃、フランクリン・ルーズベルトは合衆国大統領として前例のない3期目の任期に入ったばかりだった。英国は、ドイツ軍を抑えることがますます困難になっていた。ルーズベルトはドイツを、米国の国家安全保障に対する重大な脅威だと考えていた。1941年1月6日、毎年恒例の一般教書演説の中でルーズベルトは、物資援助の継続と米国軍需産業での増産を通じて英国を支援することを誓った。軍事行動を支援することによって米国は、米国民だけでなく万人の権利である普遍的な自由を守るのだ、とルーズベルトは説明した。



第32代大統領フランクリン・D・ルーズベルト

演説の中でルーズベルトは、世界の民主主義を断固として擁護し、米国が「独裁者たちの恐喝にひるむ」ことはない、と述べた。そして米国が確保し、すべての個人に広めたいと願う「人類の普遍的な4つの自由」を雄弁に語って演説を締めくくった。その普遍的自由とは、言論と表現の自由、すべての個人がそれぞれの方法で神を礼拝する自由、欠乏からの自由、そして恐怖からの自由である。

1943年、第二次世界大戦への米国の参戦を受けて、画家ノーマン・ロックウェルは、ルーズベルトの「人類の普遍的な4つの自由」を題材として一連の絵を描き、人気のあった週刊誌『サタデー・イブニング・ポスト』に発表した。これらの絵は、全米を回って戦争資金を集めるための展覧会の目玉となった。

---

## 「四つの自由」抜粋

上院議長、下院議長、第77回連邦議会の皆さん。

第77回連邦議会の皆さん。私は、合衆国の歴史で前例のない時期に際してお話している。「前例のない」という言葉を使うのは、米国の安全保障が今ほど外部からの重大な脅威にさらされたことは、これまでなかったからである

国としてのわれわれは、慈愛深い国民であることを誇りにしても良いだろう。しかしわれわれには、慈愛深い心を持つ余裕はない

国内問題についての我が国の政策が、われわれの門戸の内にいるすべて人々の権利と尊厳に対する適切な敬意に基づいているのと全く同じように、国際問題に関する我が国の政策は、大小を問わずすべての国

の権利と尊厳に対する適切な敬意に基づいている。そして道義的な正義は、最後には勝たなくてはならないし、必ず勝つだろう

われわれが確実なものとすることを追求している将来の日々に、われわれは人類の普遍的な4つ自由を土台とした世界が生まれることを期待している。

第1は、世界のあらゆる場所での言論と表現の自由である。

第2は、世界のあらゆる場所での、個人がそれぞれの方法で神を礼拝する自由である。

第3は、欠乏からの自由である。それは、世界的な観点で言えば、あらゆる国に、その住民のための健全で平和時の生活を保証するような経済的合意を意味する。

第4は、世界のいかなる場所でも、恐怖からの自由である。それは世界的な観点で言えば、いかなる隣国に対しても、物理的な侵略行為を犯すことがないような形で、世界中の軍備を削減することを意味する。

これは、千年先の幻想ではない。われわれの時代と、この世代のうちに実現可能な形の世界の、明確な基盤である。そうした種類の世界は、独裁者たちが爆弾の衝撃によって作り上げようとしているいわゆる専制政治の新秩序のまさに対極にある。

そのような新秩序に対して、われわれはもっと偉大な概念で対抗する。それは道義をわきまえた秩序である。優れた社会は、世界支配の企てにも海外での革命にも、等しく恐れることなく対峙することができる。

米国の歴史が始まった時から、われわれは変化を推し進めてきた。永続的な平和革命に携わってきた。それは、着実に進む革命であり、状況の変化に静かに適合してきた。そこには強制収用所も、逃走を阻む生石灰の入った溝もなかった。われわれが追求する世界秩序は、自由な諸国が、友好的な文明的社会の中で力を合わせる協力関係なのである。

米国は、その運命を、何百万人もの自由な男女の手と頭と心に託してきた。そして、神の導きの下で、「自由」に信頼を託してきた。自由とは、あらゆる場所で人権が至上であることを意味する。そうした人権を獲得したり維持したりするために苦闘する人々に、われわれは支援の手を差し伸べる。われわれの強みは、われわれの目的の一致である。その崇高な概念には、勝利以外の終わりはありません。



## The Four Freedoms (1941)

Franklin D. Roosevelt

Mr. President, Mr. Speaker, Members of the Seventy-Seventh Congress:

I address you, the Members of the Seventy-seventh Congress, at a moment unprecedented in the history of the Union. I use the word "unprecedented," because at no previous time has American security been as seriously threatened from without as it is today....

As a nation, we may take pride in the fact that we are softhearted; but we cannot afford to be soft-headed....

Just as our national policy in internal affairs has been based upon a decent respect for the rights and the dignity of all our fellow men within our gates, so our national policy in foreign affairs has been based on a decent respect for the rights and dignity of all nations, large and small. And the justice of morality must and will win in the end....

In the future days, which we seek to make secure, we look forward to a world founded upon four essential human freedoms.

The first is freedom of speech and expression—everywhere in the world. The second is freedom of every person to worship God in his own way—everywhere in the world.

The third is freedom from want—which, translated into world terms, means economic understandings which will secure to every nation a healthy peacetime life for its inhabitants—everywhere in the world.

The fourth is freedom from fear—which, translated into world terms, means a world-wide reduction of armaments to such a point and in such a thorough fashion that no nation will be in a position to commit an act of physical aggression against any neighbor—anywhere in the world.

That is no vision of a distant millennium. It is a definite basis for a kind of world attainable in our own time and generation. That kind of world is the very antithesis of the so-called new order of tyranny which the dictators seek to create with the crash of a bomb.

To that new order we oppose the greater conception—the moral order. A good society is able to face schemes of world domination and foreign revolutions alike without fear.

Since the beginning of our American history, we have been engaged in change—in a perpetual peaceful revolution—a revolution which goes on steadily, quietly adjusting itself to changing conditions—without the concentration camp or the quick-lime in the ditch. The world order which we seek is the cooperation of free countries, working together in a friendly, civilized society.

This nation has placed its destiny in the hands and heads and hearts of its millions of free men and women; and its faith in freedom under the guidance of God. Freedom means the supremacy of human rights everywhere. Our support goes to those who struggle to gain those rights or keep them. Our strength is our unity of purpose.

To that high concept there can be no end save victory.

